

令和7年1月21日



漁業管理課

直通：092-643-3555

内線：4103、4114

担当：中川、中村

小学生が海藻の種まきでブルーカーボン創出を体験！

～宗像漁協、(株)高田工業所、宗像市、県が連携して実施します～

海藻に吸収・固定される二酸化炭素は「ブルーカーボン」と呼ばれ、近年、脱炭素社会の実現に向けた大きな役割が期待されています。

県では、ブルーカーボンの創出を推進するため、筑前海沿海の漁協や市町、九州大学等から構成される「福岡県ブルーカーボン推進協議会」を立ち上げ、海藻を食害するウニの除去や、海藻の種まきの取り組みを進めています。

この度、宗像市鐘崎において、協議会会員である宗像漁業協同組合、(株)高田工業所、宗像市、県が、海藻を海で育てるため、玄海東小学校の児童と一緒に、海藻の種苗(葉体)を漁網に挟み込み、海に設置します。この活動を通して、小学生にブルーカーボン創出の大切さを伝えます。

1 日 時 令和7年1月31日(金) 14時00分～18時00分(受付13時30分から)

※荒天時は、「海藻の種苗の挟み込み」のみ実施します

2 場 所 鐘崎漁港(宗像市鐘崎※別図)及び近隣の海

3 参加者 宗像漁業協同組合、(株)高田工業所、ニチモウ(株)、宗像市、県
玄海東小学校児童(5年生、18名)

4 内 容

鐘崎地先で児童らが海藻の種苗を漁網に挟み込み、漁業者が船で海に設置。

≪当日のスケジュール(予定)≫

14時00分 児童到着後、活動について説明

14時25分 海藻の種苗の挟み込み

15時30分 児童帰校

15時40分 出港

15時50分 漁網の設置

18時00分 帰港



種苗の挟み込みの様子

★ 報道機関の皆さまへ

当日は、海藻の種苗を漁網に挟み込む様子や、船の上から、海に網を設置する様子を撮影できます。宗像市が取材用の船を準備しますので、取材いただける場合は1月30日(木)までに下記担当者までご連絡ください。

宗像市産業政策課 緒方 0940-36-9039 (当日の問合せ先:080-5235-9129)

〈参考〉ブルーカーボンの創出で「1石3鳥」

